

**ウリ類退緑黄化ウイルス (CCYV) 感染によるスイカ果実の被害**

ウリ類退緑黄化ウイルス (CCYV) は栽培初期のスイカに感染すると、葉の黄化が激しくなる。果皮や果肉、糖度には影響しないが、小玉化する。

農業研究センター生産環境研究所病害虫研究室 (担当者: 森山 美穂)

**研究のねらい**

タバココナジラミが媒介するウリ類退緑黄化ウイルス (以下 CCYV) は、メロンやキュウリで葉の退緑斑や黄斑による黄化、メロン果実の糖度低下など、様々な被害を起こす。スイカ葉でも、メロンやキュウリ葉と同様に退緑斑や黄化を示し、さらにえそや枯死も生じるが、CCYV 感染による果実品質への影響については不明である。そこで、感染時期を変え、CCYV 感染によるスイカ果実への影響について明らかにする。

**研究の成果**

1. CCYV が育苗期に感染すると交配時期の感染に比べて葉の黄化度は高くなる (図 1)。
2. 育苗期に CCYV が感染すると、果実の糖度低下はないが、小玉化する (図 2)。
3. 果皮や果肉の症状は認められない。

**普及上の留意点**

1. CCYV を媒介するタバココナジラミの防除は、メロン退緑黄化病の対策を参考にして行う。特に、栽培初期の CCYV の感染は収量へ影響するので、定植後から栽培初期のタバココナジラミの防除は徹底して行う。
2. 収穫期に生理障害や株の衰弱で、退緑えそ病と類似した症状が発生するので、区別に注意する。

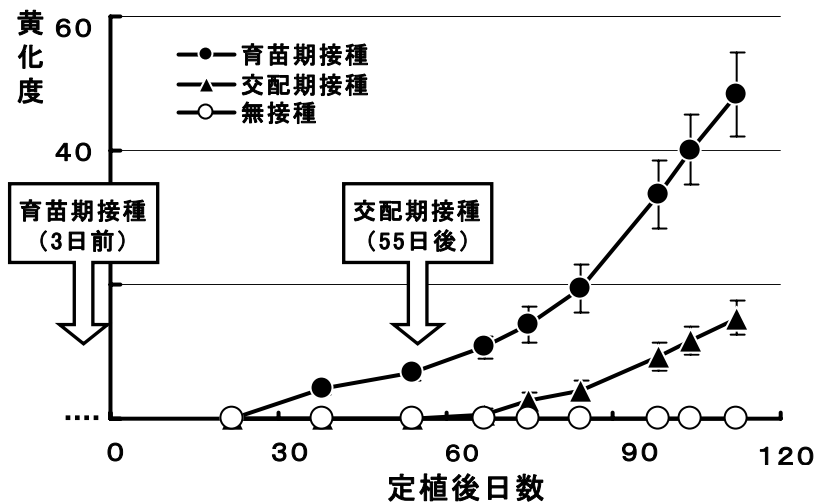


図1 異なる CCYV 接種時期での黄化度の推移

定植：2009 年 12 月 24 日 品種：穂木スーパーエース 台木かちどき

黄化度 =  $\{ \sum (\text{指数} \times \text{程度別葉数}) / 4 \times \text{調査葉数} \} \times 100$

1: 葉の 10%未満が黄化 2: 葉の 10%以上が黄化, えそはない

3: 葉の黄化とえそ 4: 枯死

図中のバーは標準誤差を示す。

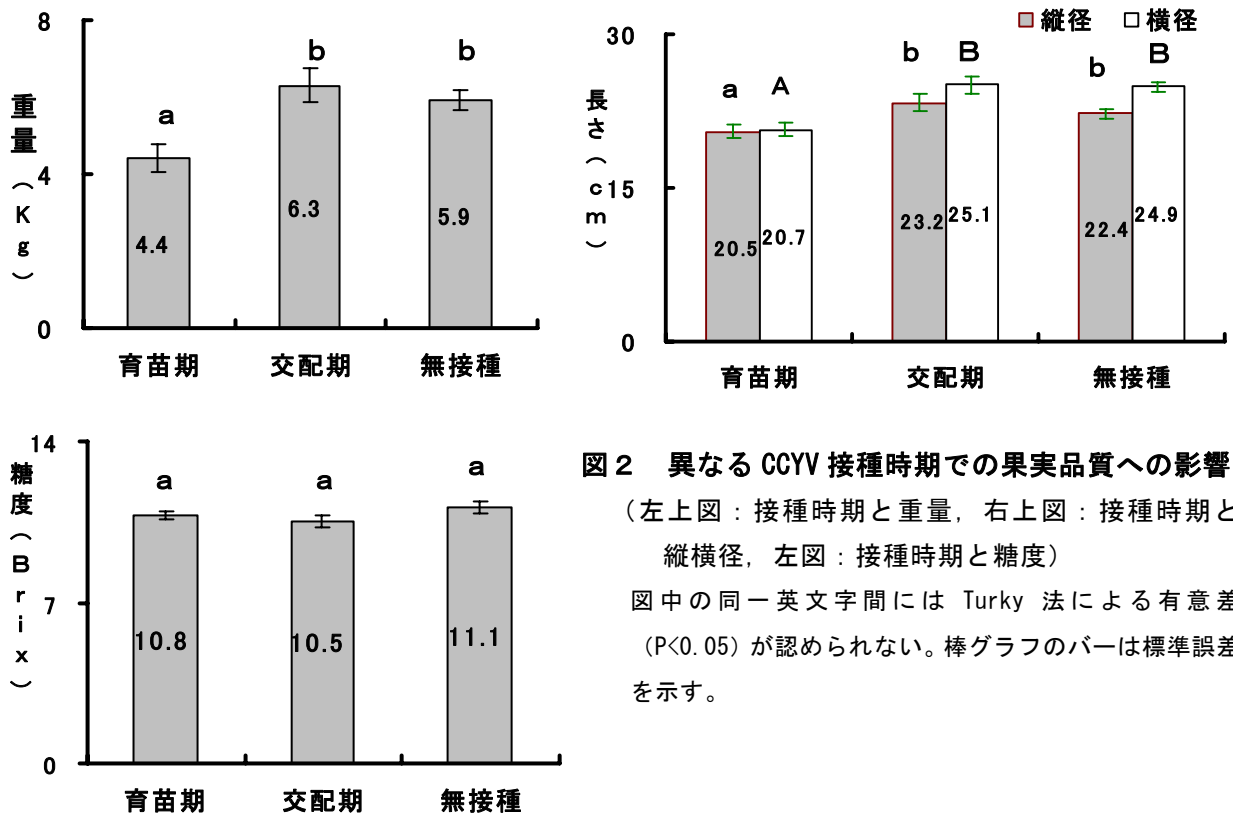


図2 異なる CCYV 接種時期での果実品質への影響

(左上図：接種時期と重量, 右上図：接種時期と縦横径, 左図：接種時期と糖度)

図中の同一英文字間には Turkey 法による有意差 (P<0.05) が認められない。棒グラフのバーは標準誤差を示す。